

和歌山だよいい

平成24年 10月号



みかん (有田市)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P12
3. お知らせ…………… P13
4. ふるさと歳時記…………… P14

紀の国わかやま国体・大会ダンスが完成！
ホームページで見られます
<http://www.wakayama20>



「 スポーツばんざい 」

7月下旬から8月中旬にかけては、世界中がロンドンオリンピックに沸きました。和歌山県にゆかりのある選手・監督も12人にのぼり、全員あつぱれの大健闘をしてくれたと思います。時差の関係で、大一番は日本時間の未明になることが多く、県民の皆さんもテレビ観戦のため寝不足になられたことと存じます。私もパブリックビューイングで声をかせて声援をした翌日は、さすがにフラフラでした。しかし、勝っても負けても、見ている我々を本当にすがすがしい気持ちにしてくれるのがスポーツであると思います。

私は、運動部で練習に明け暮れた経験はないのですが、つらい練習に耐えてがんばった選手はそれだけでも大変なものだと思いますし、チームメートや監督、コーチ、スタッフと力を合わせて協力する経験は、素晴らしいことだと思います。またスポーツにはルールがあり、これをきちんと守り、かつスポーツマンシップに則り、紳士的に行動するということが身につけるといことは、選手一人ひとりのこれからの人生に豊かな糧を与えてくれることでしょう。紀伊半島大水害からの復興を願って、世界のホームラン王の王貞治さんが、8月に世界少年野球大会を連れてきたくれたのを機に、お話をする機会がありましたが、スポーツで最高の方は、人としても最高だなあと感心しました。

今回のオリンピックでは審判のジャッジについてよく物議がかもされました。女子サッカーのなでしこの決勝戦でも、私が見てもハンドでペナルティーキックだと思ったシーンがありましたが、審判が採ってくれませんでした。しかし、それについての佐々木則夫監督の発言が素晴らしいものでした。「レフェリーがジャッジを決めることですから。瞬間、僕も『あれっ』って思いましたけど、素直にレフェリーをリスペクト（尊敬、尊重）することが我々の使命だと思います」。これぞスポーツマン、日本の誇りです。なでしこの銀メダルが燦然と輝きました。次は3年後の紀の国わかやま国体です。



9 / 9 国体開催決定記念イベントにて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会開催決定記念イベント

・9月9日、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」の開催決定記念イベントが開かれました。会場となった和歌山ビッグホエールには、約3800名もの来場者があり、3年後の本番に向けて、開催機運を盛り上げました、

・イベントは、国内外のコンクールで数々の実績を持つ和歌山児童合唱団の歌と昨年度のと歌山県文化奨励賞を受賞した原大樹さんのマジックで開幕し、記念式典へと移りました。

・式典の冒頭、仁坂知事は、「2015年に向け、準備は進んでいる。全国から来る皆さんを笑顔で迎えられよう、おもてなしの心をみんなで築いていきたい。」と挨拶。そして、開催地を代表して、有田川町の中山正隆町長に会場地決定通知書を手渡しました。

・続いて、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会のイメージソング「明日へと」が発表され、爽やかなメロディーが会場いっぱいに流れました。

・イベントの中では、岐阜県で開催される「ぎふ清流国体」と「ぎふ清流大会」の選手団結団壮行式も行われました。

・仁坂知事は「2015年の国体での男女総合優勝をめざして、頑張るって欲しい」と述べて、出場選手を激励し、選手団に団旗を授与しました。

・和歌山県ふるさと大使の小西博之さんやパンダ大使の岡本玲さんも駆けつけ、激励旗を手渡しました。また、応援パフォーマンスとして、イメージソング「明日へと」にあわせた国体ダンスも初めて披露されました。

・式典等の後にはトークショーも行われ、小西博之さん、岡本玲さんのほか、ロンドンオリンピックで大活躍したレスリングの湯元健一・進一兄弟やロンドンパラリンピックの水泳で銀メダルに輝いた中村智太郎選手等が加わり、競技に対する熱い思いから、今後の抱負、2015年の国体・大会に寄せる思いなど、仁坂知事を交えて、楽しいトークが繰り広げられました。

・最後にはウインズのミニライブや大抽選会も開かれ、会場は大いに盛り上がり、熱気に包まれたまま、一連の記念イベントが終了しました。



●紀の国わかやま国体イメージソングのCDが発売！！

・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会のイメージソング「明日へと」のCDが9月22日に全国発売されました。

・このCDには、オリジナルの楽曲の他、カラオケ、ダンスバージョン、コラボバージョンなど計5曲が収録されています。特にコラボバージョンでは、和歌山で活動するアーティストたちが大勢参加して、大いに盛り上げてくれています。

・価格は1枚1000円で、CD代金のうち5%は、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」の運営経費に充てられる「きいちゃん募金」へ寄附されます。

・全国のCDショップのほか、インターネットの通販サイトAmazon (<http://www.amazon.co.jp/>)でも購入することができます。



●オリンピック・パラリンピック選手の健闘を讃える会を開催

・9月18日、和歌山市のアバローム紀の国でロンドンオリンピック・パラリンピック出場者の健闘を讃える会が開催されました。

・讃える会には、体操の田中和仁選手、田中佑典選手、田中理恵選手、レスリングの湯元進一選手、フェンシングの西岡詩穂選手、カヌーの阪本直也選手、パラリンピック水泳の中村智太郎選手の7人が出席。

・仁坂知事は、「県民に誇りと感動を与えてくれました。心から感謝します」と健闘を讃えました。選手からは早くも4年後に向けた決意の声も聞かれ、会場からは、大きな拍手が送られました。

・また、これに先だって、1期生～6期生のゴールデンキッズとその保護者参加のもと、選手を囲む会も開催されました。

・ゴールデンキッズ発掘プロジェクトは、国際舞台で、活躍する競技者の育成を目指すプロジェクトで、参加している子ども達はまさしく未来のオリンピック候補です。

・拍手に迎えられて入場した選手は、「夢を持って頑張る」と一人ひとりが子ども達にエールを送りました。

・その後、子ども達が選手に質問をする時間も設けられ、「試合前は緊張するか」など次々と質問が飛び出しました。また、メダルを触ったり、握手をしたりして、交流も深められ、未来のアスリートにとって、興奮のひとつとなりました。



●オリンピックメダリストが仁坂知事を表敬訪問

・ロンドンオリンピックで大活躍した和歌山ゆかりの選手の方々が、県庁を訪問し、仁坂知事に喜びの報告を行いました。

☆古川高晴選手☆

・9月6日、アーチェリーで銀メダルに輝いた古川高晴選手が、訪問しました。

・古川選手は、現在、岩出市在住で、紀の川市にある近畿大学生物理工学部に職員として勤務しています。

・古川選手は「メダルが取れたことは嬉しいが、周りの人の応援があったからこそできた。」と挨拶し、仁坂知事は「和歌山国体、そして次のオリンピックでも活躍を」と健闘を讃えました。

・古川選手には国内外の大会で優秀な成績を収めた選手に贈られる和歌山県スポーツ顕賞が授与されました。



☆湯元健一選手・湯元進一選手☆

・9月10日、レスリング55kg級で銅メダルに輝いた湯元進一選手と60kg級で5位入賞を果たした湯元健一選手が訪問しました。

・二人は、双子の兄弟で、湯元健一選手は、4年前の北京オリンピックで銅メダルに輝いています。

・双子の兄弟がメダルを獲ったのは、日本のオリンピック史上初ということで、仁坂知事は、兄弟の健闘を讃えるとともに、3年後の国体での活躍にも期待を込めました。

・湯元進一選手には和歌山県スポーツ顕賞をまた、同賞の受賞が7回目となる健一選手には和歌山県スポーツ顕賞特別賞が贈られました。



☆田中和仁選手・田中理恵選手・田中佑典選手☆

・9月19日、体操男子団体で銀メダルに輝いた田中和仁選手と田中佑典選手、女子団体で8位入賞を果たした田中理恵選手の3兄弟が揃って訪問しました。

・仁坂知事は、パブリックビューイングで大勢の方と盛り上がったことに触れながら、日本体操史上初となった3兄弟揃ってのオリンピック出場とその健闘を讃えました。

・田中和仁選手、理恵選手、佑典選手にはそれぞれ和歌山県スポーツ顕賞が贈られました。



●首都圏高級スーパーで「和歌山味わい Selection」を展開中！！

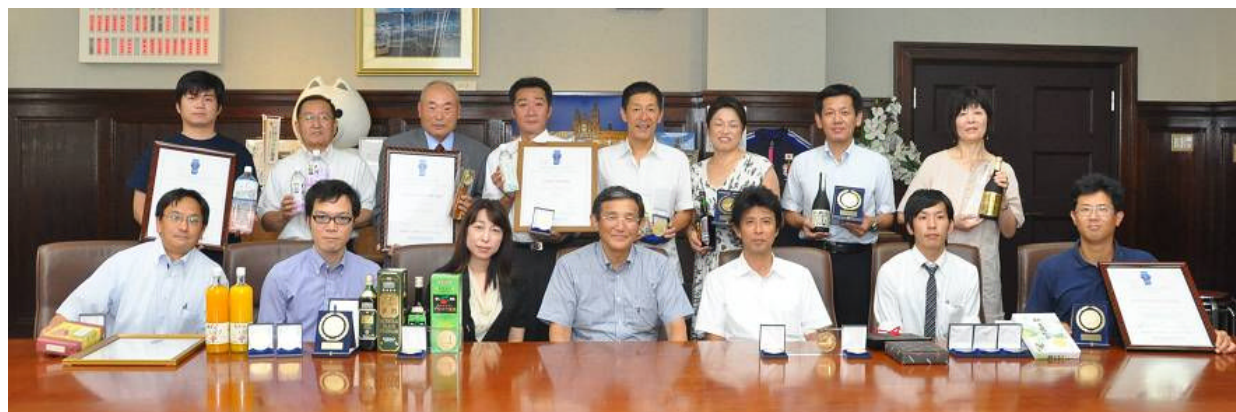
- ・和歌山県では、9月21日から、首都圏高級スーパーマーケットにおいて、「和歌山味わい Selection」と題し、プレミアム和歌山と特選グルメの販売コーナーを展開しています。
- ・この事業は、プレミアム和歌山認定事業者が商品提案から売場までのプロセスを通して、営業ノウハウを取得することや、売場での販売状況や消費者・バイヤー等の意見のフィードバックを受けることで、商品改良や商品開発につなげることを目的にしています。
- ・開催しているのは、都内にある下記の5店舗で、各店舗の販売コーナーでは、コンシエルジュ（販売促進員）を配置して、商品の説明を行っています。
- ・機会があれば、ぜひ、お立ち寄り下さい。

開催場所	地図	期間	営業時間
三浦屋 コピス吉祥寺店 (東京都武蔵野市吉祥寺本町1-11-5 吉祥寺駅北口 旧伊勢丹地下1階) http://www.miuraya.com/shop/shop11.html		平成24年9月21日(金) ～11月22日(木)	月～日曜日 10:00～21:00
三浦屋 国立店 (東京都国立市北1-5-8 くにたちの杜ブラス国立寺番館) http://www.miuraya.com/shop/shop05.html		平成24年9月21日(金) ～11月22日(木)	月～日曜日 10:00～21:00
クイーンズ伊勢丹 錦糸町店 (東京都墨田区錦糸2-2-1アルカキット錦糸町B1F) http://www.queens.jp/shops/kyo/09_kinsi.html		平成24年9月27日(木) ～11月28日(水)	月～日曜日 10:00～22:00
紀ノ国屋entrée エキュート上野店 (東京都台東区上野7-1-1JR東日本上野駅構内3階e cute上野内) http://www.super-kinokuniya.jp/store/		①平成24年10月1日(月) ～10月31日(水) ②平成25年2月1日(金) ～2月28日(木)	月～土曜日 7:00～23:00 日祝 7:00～22:30
紀ノ国屋entrée エキュート立川店 (東京都立川市柴崎町3-1-1 ecute立川2階) http://www.super-kinokuniya.jp/store/		①平成24年10月1日(月) ～10月31日(水) ②平成25年2月1日(金) ～2月28日(木)	月～日曜日 8:00～23:00 (改札外)



● 2012年モンド・セレクション受賞事業者が受賞報告

- ・ 8月31日、食品の国際品評会「モンド・セレクション」を受賞した県内の事業者の方々が、受賞報告に仁坂知事を訪れました。
- ・ 受賞されたのは22社の方々に、本県の特産品である梅や醤油から菓子や水など35品が世界的に高い評価を受けました。
- ・ 田端酒造株式会社の「羅生門 龍寿」は23年連続での最高金賞受賞となり、これは世界初の快挙です。
- ・ 受賞者は、商品の長所を説明しながら、和歌山の商品を世界にPRしていきたいと今後の意気込みを話しました。



モンドセレクション受賞者22社35品（五十音順）

事業者名	受賞賞品	受賞内容
(株)アセロラフーズ <田辺市>	アセロラ黒酢	最高金賞【3年連続】
	グルコサミン アセロラ黒酢	金賞【3年連続】
(有)あんちゃん <日高川町>	釣鐘まんじゅう	銀賞
井口食品工業(株) <みなべ町>	原酒 紀州絵巻	最高金賞【5年連続】
	梅子桜子	最高金賞【5年連続】
	デザート 梅の舞	最高金賞【5年連続】
(株)伊藤農園 <有田市>	きよみしぼり	金賞【2年連続】
	みかんしぼり	金賞【4年連続】
雲水 <日高川町>	釣鐘まんじゅう	金賞【2年連続】
おざきのひもの <串本町>	ウルメイワシの丸干し	銅賞【新規】
(株)角濱総本舗 <高野町>	ごま豆腐	金賞【6年連続】
川口水産(株) <有田市>	きざみうなぎの蒲焼き	金賞【3年連続】
	川口水産のうなぎ蒲焼き	銅賞【新規】
(株)紅梅園 <田辺市>	完熟梅シロップ	最高金賞【3年連続】
	デザート 梅の夢	最高金賞【5年連続】
串本町 <串本町>	なんたん水	金賞【新規】
サカイキャニング(株) <橋本市>	霊峰高野山 大師の水 500ml	最高金賞【4年連続】
	霊峰高野山 大師の水 2L	最高金賞【5年連続】
(株)大覚総本舗 <かつらぎ町>	深山の恵み 聖地高野山系の水	金賞【4年連続】
	和風ブラマンジェ	銀賞【2年連続】
田端酒造(株) <和歌山市>	羅生門 龍寿(日本酒)	最高金賞【23年連続】 ※世界初

事業者名	受賞賞品	受賞内容
中野 BC(株) <海南市>	紀州の赤本「梅真珠」	銀賞【2年連続】
	大吟醸「紀伊国屋文左衛門」(黒)	最高金賞【新規】
	純米酒「紀伊国屋文左衛門」	金賞【新規】
	紀州梅酒「紅南高」	金賞【新規】
(株)南紀白浜 富田の水 <白浜町>	南紀白浜 富田の水 1.3L	最高金賞【11年連続】
(株)濱田 <田辺市>	金箔入り梅酒「HAMADA」	最高金賞【5年連続】
(有)深見梅店 <上富田町>	フルーツ梅	銀賞【4年連続】
(名)丸正酢醸造元 <那智勝浦町>	那智黒米酢	最高金賞【6年連続】
丸新本家(株) <湯浅町>	丸新ゆずぼん酢	金賞【6年連続】
	九曜むらさき	最高金賞【7年連続】
(有)港屋 <白浜町>	柚もなか	銀賞【3年連続】
(有)紅葉屋本舗 <串本町>	本練羊羹 竹皮包み	金賞【5年連続】
	柚子羊羹 竹皮包み	金賞【6年連続】
湯浅醤油(有) <湯浅町>	生一本黒豆醤油	最高金賞【7年連続】

●国際線ファーストクラス・ビジネスクラスに県産品を使用したメニューが登場
～県産食材が空を飛ぶ第⑤弾～

・9～11月の期間、全日空の成田・羽田発欧米・アジア路線のファーストクラス・ビジネスクラスの機内食に県産の「山椒」及び「柿酢・あんぼ柿」を使用したメニューが登場しています。

・これは、海外での「わかやま産」ファン獲得を目指し、国際線利用客をターゲットにした販路開拓活動の一環で、今回で第5弾となり「山椒」、「あんぼ柿・柿酢」とも昨年に引き続いての再登場となりました。

<使用食材>

◆山本勝之助商店「紀州香山椒粉」

和歌山県産のブドウ山椒を石臼で挽いた素材の品質を生かしたシンプルな薬味です。柑橘系の香りとしびれる刺激が特長です。

欧米路線ビジネスクラスの洋食メインディッシュに「国産牛フィレ肉のステーキ和歌山県産山椒の香りと大黒しめじを添えて」というメニューで提供されています。

(ホームページ: <http://www.kanneichi.com/>)



◆JA紀北かわかみ「まるごと柿酢」

濃新鮮なたねなし柿を使い、手作業で手間暇を掛け、じっくりと熟成させた風味豊かな柿酢。お酢を使う色々な料理の調味料として、また薄めて手軽に柿酢飲料として、バリエーション豊かにご利用いただけます。

アジア路線ビジネスクラスのメインディッシュ、欧米路線ビジネスクラスアペタイザーに調味料として付け合わせの味付けに使用されています。

(ホームページ: <http://www.ja-kihokukawakami.or.jp/>)



◆(株)紀和農園プロダクツの「あんぼ柿」

和歌山県産のたねなし柿を使用。原材料は柿のみで添加物・保存料は一切使用していません。中は果肉たっぷり、ふんわり柔らかな食感で柿本来の甘さと風味をお楽しみいただけます。

欧米路線ファーストクラスのアミューズメニューにトッピングとして使用されています。(ホームページ: <http://www.kiwanouen.co.jp/>)



●和歌山の美味しいジビエを召し上がれ

- ・和歌山産のイノシシやシカを使った「和歌山ジビエ」を気軽に美味しく食べてもらおうと、和歌山市内の料理店5店が参加し「和歌山ジビエ同好会」が発足しました。
- ・同会では、9月15日から各店で趣向を凝らしたジビエ料理を提供しています。また、今後も定期的なフェアの開催などによりジビエの良さを広く発信していく予定です。
- ・詳細については、同好会のホームページをご覧ください。

<http://www.wakayama.tv/special/gibier/>

参加店舗名	住所	メニュー
団楽焼肉 石頭 (がち)	和歌山市毛見 1437-92	和歌猪の部位別焼肉 和歌猪の焼きしゃぶ
j i n d a r i p u l u s (ジンダリ プラス)	和歌山市畑屋敷兵 庫ノ丁 11	絶品紀州猪肉ステーキ 紀州猪肉と和歌山産野菜しゃぶしゃぶ イノシシハンバーグ
コリアンレストラン J I N D A R I (ジンダリ)	和歌山市雑賀町 6	シシカムジャダン (猪の背骨肉とジャガイモのお鍋)
炭火焼き鳥 斗里屋 (とりや)	和歌山市新通り 3-19	紀州産猪の串
リストランテ b b (ベーバー)	和歌山市匠町 44-1	ガルガネッリと猪のポルチャーニのラグー 猪モモのポルケッタ 猪のスティンコのコンフィ 骨付ローストの香草オープン焼き



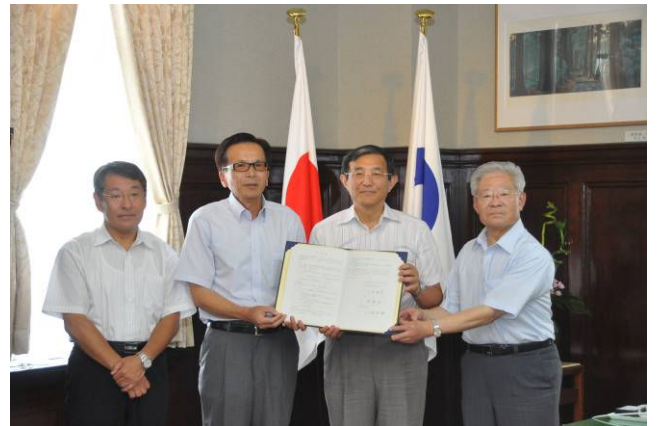
●藤本食品株式会社が岩出市に新工場を建設

- ・このたび、藤本食品株式会社（本社：和歌山市）が岩出市へ新工場を建設し、本社工場を拡張移転することが決定しました。
- ・藤本食品は、昭和48年に和歌山市において惣菜の製造を始めた企業です。その後、中食産業の成長にともない、事業を拡大、現在では大阪、兵庫など5府県に製造工場を展開し、愛知県から山口県に至る各府県の取引先約3600店舗に、弁当、おにぎり、寿司類、惣菜等を提供しています。
- ・今後も成長することが見込まれる中食産業事業を拡大するほか、ライフスタイルの変化に応じた宅配弁当事業などの多様なニーズに対応するため拡張する運びとなりました
- ・操業開始は、平成25年4月の予定です。これで、平成19年からの企業立地件数は108件となりました。

●広川町にメガソーラー発電事業の進出が決定

・9月6日、広川町に本社を置く株式会社広川明神山風力発電所が新たに大規模太陽光発電事業を実施するにあたり、協定調印式が行われました。

・同社は、大阪ガス株式会社のグループ企業として、風力発電所の建設、運営を手掛け、自然の力を生かした再生可能エネルギーによる発電に積極的に取り組んでいます。



・今年7月から、再生可能エネルギーの全量買取制度が開始されたのに伴い、太陽光発電事業へも積極的に進出することとなり、今回の協定となりました。

・広川明神山風力発電所の16号風車敷地の1ヘクタールのスペースを活用して、太陽光発電所を建設し、一般家庭約225世帯分の年間消費量に相当する約81万kWh（年間）の発電を予定しています。

・調印式には、仁坂知事、広川町の白倉充町長、事業者側から同社の上田和彦社長、大阪ガス株式会社の池島賢治取締役常務執行役員ガス製造・発電事業部長、滝本裕次和歌山地区支配人が出席。

・仁坂知事は「再生エネルギーで世の中が変わろうとしている中で、和歌山県でもこういう貢献が出来て大変うれしく思う。」と述べ、上田社長も「微力ながら地域に貢献していきたい」と意気込みを語りました。

・操業開始は来年3月を予定しています。

●和歌山大学前駅（ふじと台）に駅ビル「エスタシオン」が完成

・4月に開業した南海電鉄の和歌山大学前駅（ふじと台）に併設する駅ビル「エスタシオン」が完成し、9月15日に披露式典と内覧会が行われました。



・「エスタシオン」は4階建ての東館と2階建ての西館からなり、東館には食品スーパーや飲食店、医院などが入居する予定で、既に一部の店舗は営業を始めています。また、西館には管理事務所、店舗のほかホールが設けられ、今後、地域のイベント等でも利活用が期待されます。

・来賓として出席した仁坂知事は「駅ビルの完成により、賑わいが出来て、この地域にゼロサム以上の多くの新しい要素が出来てくる」と述べ、完成を祝いました。

・和歌山大学前駅周辺は、宅地開発が進められ、平成26年春には大型ショッピングモールの開店も予定されるなど、今後の発展が期待されています。



●特別展「よみがえる軍艦 エルトゥールル号の記憶」を開催中

・9月7日、和歌山県立博物館において、特別展「よみがえる軍艦 エルトゥールル号の記憶」の内覧会が開催されました。

・この展覧会は、日本・トルコの友好の原点となったエルトゥールル号事件の舞台である和歌山県において、エルトゥールル号の水中調査により、近年発見され引き揚げられた資料を、発掘調査団長トゥファン・トゥランル氏の監修・指導のもと、発掘調査の状況も含め、本格的に展示するものです。

・オープニング内覧会には、セルダル・クルチ駐日トルコ共和国特命全権大使やトゥファン・トゥランル団長も出席し、仁坂知事は、「展覧会を通して、日本とトルコの友好の歴史に触れて欲しい。」と挨拶しました。

・展覧会には、香水瓶や日本の貨幣、菊の紋章の入った磁器の破片など、2008年から本格的に始まった発掘調査により、引き上げられた資料64件約950点が展示されています。

・開催期間は、10月11日までとなっています。お時間があれば、ぜひご覧ください。



●高野・熊野夢舞台コンサート

～蘇る煌く 聖地熊野からのメッセージ～を開催します！！

・和歌山県観光立県推進条例に基づく「観光週間」の取組の一環として、「高野熊野夢舞台コンサート～蘇る 煌く 聖地熊野からのメッセージ～」を下記のとおり開催します。



(日時)	平成24年11月4日(日)	17時30分開演
(場所)	熊野本宮大社 旧社地大斎原	※雨天決行(荒天の場合は中止)
(入場)	無料(定員400名)	※入場整理券が必要です
(内容)	歌手・相川七瀬さんによるライブ&トーク	
(主催)	和歌山県・公益社団法人和歌山県観光連盟	
(協力)	熊野本宮大社・熊野本宮観光協会・田辺市	

◆入場整理券の申込み 「往復ハガキ」又は「特設サイト」よりお申し込み下さい。

往復ハガキでお申し込み

往信ハガキに①住所、②氏名(ふりがな)、③年齢、④電話番号、⑤入場希望人数(1人または2人)、復信ハガキ宛名面に①申込者宛名(氏名・住所)を記載のうえ下記にお申し込みください

<送付先> 〒640-8533 (住所不要)

テレビ和歌山内 「夢舞台コンサート」係

特設サイトからお申し込み

下記の特設サイトの応募フォームよりお申し込みください。

<特設HP> <http://www.kumano-yumebutai.com/>

※募集期間は10月19日(金)まで、往復ハガキは当日消印有効です。

●和歌山県のいじめ問題対策について

- ・全国各地で、いじめによる自殺などの問題が相次いでいます。
- ・9月議会の一般質問において仁坂知事は「いじめは、人の命に関わる重大な問題であり、いかなる理由があれ、人間として絶対に許されることではないと思う。しかし、現実にいじめは起こっており、そのため、つらく苦しい思いをしている子どもたちを一日も早く救うため、私たち大人が真剣にこの問題と向き合わなければならない」と答弁しました。
- ・和歌山県では、いじめを教育委員会だけの問題とはせず、知事部局においても主体的かつ積極的に取り組む問題であると捉え、様々な対策を進めていきます。
- ・まず、いじめに関する実態をきめ細かく掴むため、すべての学校でアンケートを実施し、学校から、直接ヒアリングを行うとともに、教職員がこの問題に適切に対応できるよう、早急にマニュアルも作成します。
- ・さらに、家族や友人、学校にも言えない声をメールやファックスにより、直接、知事・教育長が受け付ける取組も始めました。相談窓口を拡大することにより、いじめに苦しむ子ども達の声をしっかりと受け止め、解決に全力を挙げていきます。
- ・いじめを許さない学校づくりに知事部局と教育委員会が協力しあい、全力で取り組んでいきます。

○いじめの実態を把握します。

すべての学校で、子どもたちがいじめアンケートを行い、いじめの実態を把握し、早期発見・早期対応につなげていきます

○各学校に出向き、状況を確認します。

アンケート結果を基に、市町村教育委員会や私立学校の協力を得ながら、県教育委員会市町村教育委員会・知事部局が学校に出向き、学校から直接ヒアリングを行い、現場の実情を確認し、対応方法などを指導・助言することで、いじめを許さない学校づくりを推進します。

また、各学校及び市町村教育委員会のいじめ未然防止に関する効果的な取組例や、いじめを早期解決した優れた実践例を情報提供し、取組の改善を働きかけます。

○いじめ対応マニュアルを作成します。

いじめに対する初期対応や具体的な対処方法等を示した教員向けの手引きを作成し、全校に配布することで、迅速かつ適切な対応ができるようにします。

○いじめ等の相談窓口を拡大します。

学校や友達に相談できない声を知事や教育長が直接受け取ります。

○教育相談の活用を促します

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談、教育センター学びの丘の教育相談を積極的に活用するよう学校に働きかけ、子どもたちの悩みに幅広く応えていきます。

○その他の取り組み

インターネット上のトラブルやいじめ等から子どもたちを守るために、ブログやプロフ、掲示板を探索し、不適切な書き込みや画像を監視し、学校と連携して適切に対応します。

●平成24年9月議会で可決された主な条例

○和歌山県情報公開条例の一部を改正する条例

・公文書の開示請求者が正当な理由なく開示を受けない場合は開示したものとみなすこととするとともに、公文書の開示に係る手数料の額を定めるなど所要の改正を行った

・情報公開制度には、県民の知る権利を尊重し、県が保有する情報を広く公開することにより、県が県民に説明する責任を全うするという目的があります。一方で、公文書等には、個人情報など保護すべき情報も含まれ、公開に際してはこのような部分を非公開とするための作業も必要となり、必然的に行政コストが発生します。このコストは貴重な県民の税金で賄われておりますが、誰が見ても余りにも過大で不合理な請求があると、職員が忙殺され他の職務に支障が出たり、同じく税金で賄われている人件費の問題も生じてきます

・今回の改正により、過大で不合理な要求については、「コストがかかる」ということを請求者にご理解いただき、自発的に不合理な要求を抑えるという趣旨もあります。

・また、求める情報がどのような公文書にあるのかがよくわからなから、とりあえず多くの公文書の開示を要求されるということも考えられ、これに対しては「情報公開相談員」という制度を設け、事前に相談に応じることにより、県民の手数料の負担も少なくしていきます。

・この条例は平成25年1月1日から施行されます

●日韓バーリーダーズ会議が開催されました。

・9月7日～9日まで、みなべ町の紀州南部ロイヤルホテルで日本弁護士連合会と韓国の大韓弁護士協会による「日韓バーリーダーズ会議」が開催されました。

・日本弁護士連合会と大韓弁護士協会は、これまで、様々な課題について意見交換を行う定期交流会を東京とソウル交互で開催しており、昨年からは名称を「日韓バーリーダーズ会議」に改め、首都以外の地方で開催されるようになりました。

・2回目となる今回の会議には、約100名が参加し、活発な意見交換が行われました。

・懇親会には仁坂知事や地元の小谷芳正みなべ町長も来賓として出席し、名称を改めて国内で初めてとなる会議の開催地に和歌山が選ばれたことに対して歓迎の言葉を述べました。

●国際キワニス日本地区年次総会和歌山大会が開催されました。

・9月7日、和歌山市のダイワロイネットホテル和歌山で「第36回国際キワニス日本地区年次総会和歌山大会」が開催されました。

・「国際キワニス」は世界的な社会奉仕団体で、その奉仕活動の中心を、「世界の子ども達に奉仕する」、「子ども達を第一に」のスローガンのもと、未来を担う子ども達のための活動においています。

・和歌山県での総会の開催は、平成12年以来で、国内をはじめ、国際キワニス本部やアジア地区の会員など約400名が参加。

・来賓として出席した仁坂知事は、キワニスの活動に敬意を表し、国内外からの参加者を歓迎しました。また、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会のマスコットである「きいちゃん」も参加し、和歌山の魅力と3年後に迫った紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催を大いにPRしました。



ふるさと和歌山応援寄附の御案内

ふるさと和歌山応援寄附の取組を始めて今年で5年目になります。毎年、多くの皆様から温かい寄附と力強い応援のメッセージをいただき、厚く御礼申し上げます。

平成24年4月から、全国の郵便局で寄附の払込が出来るようになりました。例えば、今回パンフレットを同封させていただいておりますが、その中にあります払込取扱票^①を用いれば、寄附の申出と払込が一度にできますので、是非ご活用ください。

寄附実績

	件数	金額
平成20年度	112件	32,353,000円
平成21年度	106件	14,944,000円
平成22年度	103件	48,905,000円
平成23年度	128件	13,452,560円
合計	449件	109,654,560円



また、ふるさと和歌山応援寄附についての詳細を、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載していますので、是非ご覧ください。

これからも和歌山県を想ってくださる皆様と共に成長していき、元気な和歌山県の創造に努めていきますので、引き続き和歌山県を応援してくださいませよう、よろしくお願いいたします。

- 本年12月末までに寄附していただければ、来年の確定申告により平成24年分の所得税及び平成25年度の住民税について控除を受けることができます。
- ふるさと和歌山応援サイト(URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>)
ふるさと和歌山応援サイトでは、寄附の申し出時に公表に同意していただいた方のお名前やメッセージを掲載しています。

お問い合わせ・申込窓口

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 星加、大前

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

お問い合わせ窓口

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 小住

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

～ 広川町 ～

稲むらの火の館

・濱口梧陵は、150年以上前の安政の南海地震で当時の広村を大津波が襲った際、稲むらを燃やして、それを道しるべとして暗闇の中で逃げまどう村人を高台にある広八幡神社に導き、多くの命を救いました。さらに、津波災害から村を守るために、巨額の私財を投じて、堤防を築きました。

・この濱口梧陵の偉業と精神を受け継いでいくために平成19年に誕生したのが「稲むらの火の館」で、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターのふたつの施設があります。

・記念館は梧陵ゆかりの屋敷跡を整備して作られており、梧陵の出生から晩年まで、その人生をたどることができます。隣接するセンターでは、津波シミュレーションや3D津波映像シアターが備えられ、稲むらの火の精神をふまえながら、津波災害から命や暮らしを守ることを学ぶことができます。

ホームページ：<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

稲むらの火祭り

・10月20日、10回目となる「稲むらの火祭り」が開催されます。

・このお祭りは、濱口梧陵の功績を讃えるとともに、防災意識を高めるために、平成15年から毎年開催されているものです。

・広川町役場前にある「稲むらの火広場」から広八幡神社まで、安政の南海地震と同じ避難路を通る松明行列が行われ、郷土の偉人を偲ぶとともに、防災への思いを新たにします。

・また、今年は、10回という節目を記念して避難の呼びかけを行う「大声コンテスト」も開催されます。

滝原温泉 ほたるの湯

・広川町の山間、緑に囲まれた自然豊かな中に、「滝原温泉 ほたるの湯」があります。

・その名のとおり、5月下旬から6月中旬にかけて、近くを流れる川で蛍の観賞ができます。

・露天風呂もあり、これからの季節は、爽やかな秋の空気の中で、ゆったりとお湯を楽しむことができます。

・宿泊施設や宴会場も完備され、地元の食材に舌鼓をうちながら、のんびりとした一日を過ごせます。

ホームページ：<http://www.zc.ztv.ne.jp/hotaru/>



～編集後記～

厳しい残暑も終わりを告げ、朝晩はめっきりと涼しくなり、ようやく秋らしくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

体育の日も目前で、運動会シーズン真っ盛り、グラウンドには子どもたちの元気な声が響きわたり、まさしく「スポーツの秋」本番です。

今月号の記事では“国体”に“オリンピック”と「スポーツの秋」にふさわしい記事が紙面を飾りました。

オリンピックで大活躍された選手の方々を知事室へお迎えして、私を含め職員一同、あの興奮がよみがえり、思わず拍手でお迎えいたしました。

「オリンピックで活躍」と一言で言うのは簡単ですが、そこに至る過程には並大抵でない努力があったと思います。と同時にその努力を怠らず、一つ一つ積み上げていった人だけが、栄光の舞台に立てるのだと思いました。改めて、私たちに大きな勇気と感動を与えてくれた選手の皆さんに心から感謝したいと思います。

さて、岐阜県では「ぎふ清流国体」が開幕しました。3年後に「紀の国わかやま国体」の開催を控える本県からも、32の競技に285名の選手が出場しています。こちら、オリンピックと同様に私たちに興奮と感動を与えてくれるに違いないと思います。郷土を代表して全力でプレーする選手に、皆様方の応援をよろしく願います。

「スポーツの秋」以外にも「文化の秋」「食欲の秋」「読書の秋」と秋には様々な冠が付きます。日一日と秋が深まる中で、皆様も体調には気をつけられ、それぞれの秋をお楽しみ下さい。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2012年(平成24年)10月 NO.54
和歌山県 秘書課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2022